

2024

同友しずおか11



VOL.552

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」



私の逸品

松本工業(株)

富士ひのきを使ったエコで
あたたかみのある新社屋

～互いに支えあい、励ましあい、助けあう～
私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130



◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きやうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1097名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
たかだ 高田 じんり 仁里	特定非営利活動法人えん 認知症サービス、小規模保育、障害者等日中一時支援、伊東市介護予防(受託事業)、不登校支援、農福連携事業	伊 東	野村 勝也
よしかわ 吉川 たいすけ 泰輔	(有)吉川建設 新築、増築、リフォーム、メンテナンス、診断など	三 島	増田 隼人
はらだ 原田 けんいち 健一	原田法律事務所 法律相談、訴訟対応など	沼 津	高田 孝三
まなべ 眞鍋 なおこ 直子	(株)ワゼル 不動産賃貸業	沼 津	石澤 浩一
もちつき 望月 ゆうじ 祐志	ロータスワークス(株) システム開発	富 士	小林 修
いわい 岩井 ゆり 有里	(株)侑李 Web サイト制作、リニューアル、チラシ等、各種デザイン	志 太	鈴木 肇
こばやし 小林 ひろとし 裕敏	(株)共立アイコム WEB 制作、システム開発、印刷、デザイン、企画、販売促進、発送代行など	志 太	松葉 秀介
わたなべ 渡邊 せいいちろう 誠一郎	(株)ジョブハート 経営コンサルタント	志 太	大池盛一郎

※新会員の写真は e.doyu 「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。



富士ひのきを使ったエコで あたたかみのある新社屋

松本工業(株) (富士支部)

代表取締役 佐藤 義幸氏



木のぬくもりを感じる新社屋

今回は富士支部長をつとめる松本工業(株)の代表取締役社長佐藤義幸氏を取材しました。佐藤氏の「私の逸品」は先日完成したばかりの地産地消をテーマにした新社屋です。

富士の同友会まつりをきっかけ に入会

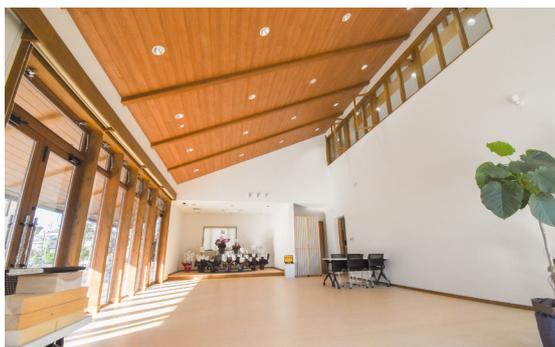
松本工業(株)は地元富士市に居を構えるゼネコンです。創業は1936年、もともと防水職人だった佐藤新作氏が始めた会社です。2018年、佐藤義幸氏が5代目社長に就任し、社内改革をしながら会社を成長させてきました。同友会への入会のきっかけは2009年、リーマンショックで業績が落ち込み悩んでいた時に同友会を知り、富士支部の同友会まつりに行ったところこのような異業種の会があることを知り入会しました。

社員が働きやすく健康になれる 新社屋

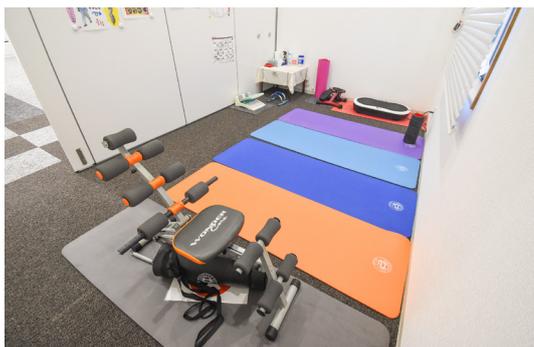
佐藤氏の私の逸品は最近完成したばかりの新社屋です。新社屋は佐藤氏の理念である、「自社とお取引先と地元」「三方よし」

「従業員満足」をプラスした「四方よし経営」を象徴するものとなっています。新社屋を建設するにあたっては、女性の設計士さんと話を進めながら、富士地域のブランド材である「富士ひのき」をふんだんに使った温かみのある生活感あふれる社屋にしたとのこと。

地元の木材を使ったECO社屋で、建築物の省エネ性能を評価・表示する制度であるBELSでファイブスターの最高評価を取得しているそうです。屋根上にはソーラーパネルを設置しており、オフィスはフリーアドレスになっているのでどこに



広々と開放的な社内



社内の健康促進ルーム

座ってもいいようにしているとのこと。ヨガスペースを完備した健康促進ルームもあり、毎月2回理学療法士(同友会会員)が来て健康相談やマッサージを施術してもらえるそうです。取り組みが評価され、健康経営優良法人の認定を4年連続で取得。このような試みは人を生かす経営やダイバーシティ経営の考え方に基づいて実践しているとのことでした。

現在のIT化の取り組みと今後の展望

現在は管理業務を合理化していると佐藤氏。現場管理システ

ムを導入したり、スマホで勤怠管理を行ったり、社内連絡はLINE WORKSを活用するなどIT化を進めているそうです。今後の抱負について佐藤氏は「創業89年目、あと11年で100周年です。是が非でも、石にかじりついてしまうと11年は経営を続けたい。社員と共に企業経営を通して地元貢献をさらに進め、100年企業を目指します!」と熱い思いを語ってくれました。

取材・記事・渡邊 正仁氏
(南丸之工務店・富士支部)

松本工業(株)

〒417-0051 富士市吉原1-11-8

TEL : 0545-52-3030

URL : <https://www.matsumoto-kogyo.co.jp/>

創業 1936年

社員数 40名

入会年月 2009年7月

事業内容 建設業(土木、舗装、測量、防水、塗装、リフォーム、各種営繕工事)

会員訪問記

次世代の業務効率化にむけて

千羽コンサルティング
代表 千葉達也氏（御殿場支部）



千葉 達也氏

★この文章は生成AIを活用して作成しています。
苦手分野へのチャレンジが創業のきっかけに

御殿場市にある「千羽コンサル

ティング」を訪問し、代表の千葉達也氏に取材を行いました。千羽コンサルティングは、地域に密着したコンサルティング会社として、特に製造業を中心に様々な企業の課題解決をサポートしています。



会社ロゴマーク

千葉氏は、大学卒業後に機械オンチであるにもかかわらず製造業の世界に飛び込み、最初の就職先では生産部門に配属されるも、元来の不器用さも発揮してしまいとても苦勞し、生産設備の保全業務も他の人の2倍以上かかってしまっていたと言います。しかし、粘り強く業務に取り組み続けた結果、プロジェクトの責任者を任せられる機会が増え、その中で生産性の向上にも関わることになり、ハード面での設備改善やラインの見直し、ソフト面での社内ルールの改善などをを行い、製造業における効率化の重要性に気づいたそうです。その後、家族との時間を増やし、自身の得意分野である製造業における知識と業務改善を軸にしたコンサルタントをできるようにと2022年に千羽コンサルティングを創業。中小企業診断士の資格を習得したことで、製造業以外の業種からも依頼が増えているそうです。自身が今までに培った知識を活かし、面談する前に準備を最大限おこない、お客様に寄り添うことに全力を注いでいます。また、業務改善の現場においてAIの活用が進んでいます。今回の取材記事も千葉氏が業務改善

で積極的に提案をおこなっている生成AIを活用して作成しました。
入会のきっかけは年始のチラシから

同友会入会のきっかけは、御殿場支部が2024年のはじめに全世帯に配布したチラシを見たことで、そこから興味を持ち2024年5月に入会します。例会や学ぶ会、委員会に積極的に参加し、自身や自社について学びを得ています。また、入会をきっかけに地元での繋がりが増え、関係性をつくりながら、お困りごとができた際にはいつでも相談に乗れるよう、常にアンテナを張っています。今後はコンサルだけでなく、補助金申請のサポート業務など、「まだまだやれることがある」と日々精進しています。

地域に貢献できる企業をめざす

「まだまだ右も左もわからないことが多いですが『まずはやってみる』精神を大切にしながら、多くのことに挑戦し、地域に貢献できるようなれれば」と話す千葉氏。支部の仲間からの誘いもあり、



「まずはやってみる」精神を大切に

千羽コンサルティング

〒412-0042 御殿場市萩原708-7
TEL：090-3583-4011
URL：https://semba-ct.com/
創業 2022年
社員数 1名
入会年月 2024年5月

事業内容
・製造業の経営戦略策定、財務分析、経営改善計画、集客支援
・製造業の生産現場の改善（画像検査工程の導入立上げなど）
・飲食業の経営戦略策定 販売促進計画、店舗戦略、財務分析、経営改善計画、集客支援

取材・原稿：鈴木翔也氏
（株）トップ 御殿場営業所・御殿場支部
取材：石山美歌氏
（ラウンジ）ジャジーラ・御殿場支部
片野貴一郎氏
（株）モスク・クリエイション・御殿場支部



お客様の困りごとを解決

企業の軸となる「経営理念」の作成にも取り組んでいきたいと話してくれました。

会員訪問記

スタッフの自分繁盛を支えるお店づくり

you me 縁 -yumeyori-
代表 瀬尾 晃博氏 (志太支部)



個室にて取材 右手前が瀬尾氏

JR藤枝駅周辺でダイニングバーを経営している瀬尾晃博氏にお話をうかがいました。

岡むら浪漫の生かす

高校まで松山で育ち、大学は山

学院への進学が決まっていたものの、そのころ読んだ本『看板のない居酒屋』に感動して静岡まで行き、舞台となった藤枝の居酒屋「岡むら浪漫」を訪問。その時に岡村社長に会うことができ、経営者になりたいと伝えたところ「う

ちで働いて、独立したらいいじゃない！」と言ってもらい、大学院に行くのをやめて新卒で岡むら浪漫に就職したそうです。さらっと語る瀬尾氏でしたが、決断の速さに取材陣は一同驚愕でした。

コロナ真つただ中の開業

岡むら浪漫を卒業して修行を重ねたのち、藤枝で「you me 縁 -yumeyori-」をコロナ禍真つただ中の2021年4月にオープン。最初に物件を見たとき「80人くらい収容できるお店を運営できるか」と不安もあったそうですが、ご紹介いただいた方の縁で契約を決めます。「人の縁でここまで来られたので、お店の名前にも縁の文字を入れた」と瀬尾氏。しかし「コロナ禍は本当に大変だったと言います。資金繰りも大変で夜眠れない日が続いたと語る瀬尾氏ですが、仲間たちの支えもあって深いトンネルを抜けることが出来たそうです。

一人ひとりが自分繁盛できるお店

外食のお店にお客様が戻ってきたタイミングで、(有)塚本商店の塚



藤枝駅北口正面ビル2階の1号店

本和成氏から同友会を紹介され、オブザーバー参加した例会でバズセッションに感動し即入会を決めます。

瀬尾氏は目指す経営像について「岡村社長の本に書かれている『繁盛店は人づくり』という言葉を実践するにはまず、自分づくりをしなければいけない。それを自分繁盛と考えていて、一人ひとりが自分繁盛できるお店を作りたい。人それぞれ、自分繁盛の価値観が違うので、それをみんなに分かちあつて、その人の自分繁盛をみんなが応援するようなお店にしたい」と語ります。現在、同友会での想いを明文化しているとのこと。

多店舗展開の夢

コロナ禍で経営が立ち行かなくなった店舗を譲ってもらい2店舗目をオープン。そして現在は3店舗目を藤枝市にオープンする準備をしているそうです。スタッフや食材を機動的に動かすドミナント戦略で出店を考えており、ダイニングバーだけでなく他の飲食業の展開もいつも頭の中にあるそうです。「藤枝の外食産業がにぎわうこ



店長の宮城さん

you me 縁 -yumeyori-
〒426-0034 藤枝市駅前1-3-2
駅前会館ビル2階
TEL : 054-643-0882
URL : <https://yumeyori.jp/>
創業 2021年4月
社員数 社員4名 アルバイト25名
入会年月 2023年9月
事業内容 ダイニングバー経営

- 取材・記事：村松繁氏 (アイマーク(株)・志太支部)
- 取材：池原智彦氏 (有)池原商会・志太支部)
- 水野芳康氏 (株)水野建築事務所・志太支部)
- 大石八治氏 (株)ロジネットサポート・志太支部)



個室が並ぶ店内

とで、この地域にも貢献できると思う。これからももっと勉強してスタッフとともに自分繁盛できる場を作っていきたい」と語る瀬尾氏の周りには、彼を応援する人がたくさんいます。その理由が垣間見られた取材となりました。

静岡県経済産業部との定期意見交換会

地域課題と自社課題を一体として

解決をめざす

10月17日(木)

同友会事務局

参加者：20名

県経済産業部との意見交換会が開催され、静岡県からは就業支援局長、商工業局長ら9名、同友会からは遠藤会長をはじめ正副代表理事、県政策委員、山本義彦顧問ら11名が参加しました。



中小企業の実態を県行政に伝え課題解決に取り組む

はじめに松葉代表理事から「他団体との意見交換を重ねる中で、より地域の課題を自社の課題として取り組むことの重要性を感じています。より実態に則した、実効性のある意見交換にしていきたい」とのあいさつがあり、渥美商工業局長からは「価格高騰の長期化や人手不足は継続した課題になっています。『パートナーシップ構築宣言』も登録企業が2600社を超えました。本宣言を実効性のあるものにするために働きかけ続ける必要があると感じています。本日も忌憚ない意見交換をよろしくお願いします」とのあいさつがありました。その後、同友会が提出した県への政策要望に関する回答をいただき、意見交換を実施。人材採用や人材育成といった人に関する課題を中心に、地場産業の発展にむけて取り組むなど、幅広く地域課題の解決にむけて互いの意見を交換しあう時間となりました。最後に簗代表理事より「『人』に関する問題は全国共通の課題。県行政をはじめとして各機関と連携を深め、地域経済を支える中小企業を守り、地域を発展させていきたいと思います」とのあいさつがあり閉会となりました。

第12回女性部ダイヤモンドカレッジ

波乱爆笑人生〜これが私の生きる道〜

10月4日(金) 同友会事務局・ZOOM 参加者：40名



古川氏報告

第12回女性部ダイヤモンドカレッジでは「波乱爆笑人生〜これが私の生きる道〜」をテーマに大阪同友会より古川永里子氏(有Eproject 代表取締役)が報告。命にかかわる病や父の死、離婚など大きな人生の転機を経験し、3人の子どもを1人で育てながら起業を決めた古川氏。Windows 95が出始めた時期にパソコンを習得しIT会社を立ち上げます。最初は稼ぐため、家族を養うために経営していた古川氏ですが、同友会に入会し経営指針セミナーを受講し「経営者が夢を持たなければ社員にも未来を語れない。自分も幸せになっていいんだ」と考え方が変わります。コロナ禍でHP関連の仕事が止まり社員も在宅勤務になった際にはテーマパークで会議を実施し、前向きに社員と夢を語り合うなど新たな「働き方改革」を進めてきました。24期目を迎え「今後はIT人材の育成に携わっていききたい」と今後のビジョンを語りました。グループ討論では「あなたの壁は何ですか?それを乗り越えた先に見える未来は何ですか?」をテーマに深めあい、最後に座長の眞継寛子氏(あじさい法律事務所・大阪同友会)が「幸せも苦難も経験できるのは、命のバトンを受け継ぎ『生きていくから』こそ」とまとめました。

10月イントロセミナー

企業が抱えている集客・採用の問題を解決し静岡の未来を創っていく

10月25日(金) ZOOM



オプザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。10月イントロセミナーではHP制作を軸に集客や採用などのWebを使ったマーケティング事業を行っている米森良偉氏(株Regalonic・静岡支部)が報告しました。15歳の頃からWebデザインやプログラミングに触れ始めた米森氏。高校卒業後は工場への就職を経て、地元のWeb制作会社に入社。2021年にWebサイト制作会社として独立しました。その後、2023年に同友会入会、すぐに県経営労働委員会主催の経営指針を創る会に参加し、経営者としての思いを形にし、経営指針を作成しました。米森氏は創る会を経て、HP制作が事業の目的ではなく、お客様が描く理想の未来にむけてお客様自身がWebやマーケティングを活用して課題解決できるよう支援する会社になっていくと決意。「お客様はじめ、業務委託先とも理念を共有しお互いに発展していく会社になりたい」と今後のビジョンを語りました。次回は12月に「同友会を使い倒そう!プロジェクト」オリエンテーションを開催予定です。皆さんのご参加お待ちしております!

静岡大学連携講座「企業経済特論Ⅳ」がスタート！ 会員経営者が中小企業の魅力や経営哲学を学生に伝える

10月2日より、第17期静岡大学連携講座「企業経済特論Ⅳ」がスタートしました。中小企業の役割や魅力を知ってもらうとともに、経営者の生き様や経営哲学から学生の今後の人生に役立ててもらうことを目的に2008年より毎年開催している本講座は今年で17年目を迎えます。静岡大学と静岡同友会は2008年に相互協力協定を締結しており、その連携の一環として本講座が開講しました。講義は全15講からなり、毎回異なる会員経営者が登壇、自社事業の特徴や経営に対する考え方、自身の人生について語っています。

第1講 10月2日(水)

日本経済における中小企業の果たす役割と意義、この講義の目的

講師：遠藤 一秀氏
(遠藤科学(株)・静岡支部)



同社の経営理念「社員の幸福追求」の実現にむけた付加価値の極大化、特に社員への配分と社内留保分の最大化について実際の決算書を用いて説明

「遠藤科学は株主ではなく社員のために経営し、一人当たりの労働生産性、付加価値を増やして社員へ所得を配分している」と語りました。また最後に「本講座を通して中小企業経営者の個性にふれ、中小企業に関心をもってほしい」と学生に伝えました。

第3講 10月16日(水)

事業承継

「想いをつなぎ目指すは100年企業」

講師：関 那積氏
(株)中部特機設備・静岡支部)



空調・換気設備の設計・施工・保守を行う(株)中部特機設備の関氏。父から突然の後継者指名で会社を継ぐことを決め

ます。先代とはケンカばかりの日々でしたが、同友会で経営理念を創る過程で会社の歴史や先代の想いを知ります。そして自身の「社員とその家族の幸せを大切にしたい」と先代の想いをかけ合せた経営理念ができました。学生には「会社を選ぶ時はリーダーの想いに共感できるかを大切にして『想いをつなぐ』一人になってほしい」と伝えました。

第4講 10月23日(水)

生きがい、働くがい、学ぶがい

講師：古川 一郎氏
(株)一電工・三島支部)



社人時代はお金のために働き、趣味は充実していたものの夢や仕事のやりがいを見つ

けられずにいた古川氏。離職し当てのない旅を続けた中で出会った人に「10年後を描いているか」と聞かれ、手に職をつけたいと電気工事業界に入ります。信頼してくれるお客様のために仕事を楽しく見出し、独立してからは経営者として夢を描けるようになりました。学生に「生きること、働くこと、学ぶことは繋がっている。学び続け、自身を成長させていってほしい」と伝えました。

東部4支部合同会議

「このままでいいのか？静岡県東部！自分たちからつなごう！変わろう！未来を創るのはわたしたちだ」

10月18日(金)

伊東市観光会館 参加者：75名

伊東・御殿場・三島・沼津支部の東部4支部合同会議を開催、各支部より会員・オブザーバー含め75名が参加しました。県組織増強委員会主催で昨年度開催した「ス Copp とビールの会」をきっかけに本企画がスタート。4支部長をはじめ各支部からの実行委員で毎月打ち合わせを重ね支部間の交流も深めてきました。当日は、野村勝也伊東支部長の開会挨拶に始まり石澤浩一沼津支部長より自身の同友会での学びと合同会議の趣旨を「物価高騰・人材不足・少子高齢化など我々を取り巻く社会環境は深刻化しており、東部4支部が力を合わせて静岡、そして日本を変えていきたい。その一歩がこの合同会議」と参加者に伝えました。

おわりに前原毅御殿場支部長より「地域に根差す中小企業としてお互い何ができるか、本気で考えようよ」ときっかけになった。4支部持ち回りで4年間開催していくので、継続してさらに深めていきたい」とまとめがありました。増田隼人三島支部長がデザインした案内パンフレットのメインビジュアルをプリントしたオリジナルTシャツを着用し、東部地域の一体感が生まれた例会となりました。

オリジナルTシャツを着て



グループ発表の様子

その後グループ討論を3つのテーマで3回に分けて実施。討論テーマは、①「我が支部の良いところ、好きなところ」②「静岡県に災害が起きたら、我々は何ができるか」③「未来を創るマッチング このメンバーで事業するならこんなことが出来る！」。業種ごとにグループに分かれお互いの支部、仕事につ



11月・12月

DOYU CALENDAR

11月16日(土)~12月15日(日)

11月 16日(土)	静岡大学リカレント教育事業セミナー (同友会企画) (10:00 同友会事務局&ZOOM)
18日(月)	県共育委員会 (18:30 ZOOM)
21日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
23日(土)~ 24日(日)	第21期経営指針を創る会 第10講 (9:00 静岡駅前会議室LINK・クーポール会館)
25日(月)	女性部DC幹事会 (20:00 ZOOM)
26日(火)	県組織増強委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
28日(木)	静岡同友会50周年記念 NEXT50フォーラム (11:30 ホテルグランヒルズ静岡)

12月 3日(火)	県青年部連絡会 (19:00 同友会事務局&ZOOM)
5日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
10日(火)	静岡例会 (19:00 清水テルサ)
11日(水)	御殿場例会 (19:00 YMCA東山荘)
12日(木)	浜松例会 (19:00 調整中)
13日(金)	富士宮忘年例会 (19:00 富嶽温泉 花の湯 (黒椿))



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》



ANNIVERSARY
50th
DOYU SHIZUOKA

静岡同友会設立50周年記念行事

NEXT50 フォーラム

~誰ひとり取り残さない~

2024
11/28
木



若手社員がこれまでの経験を振り返り学びあう

参加者からは「質のいい報連相をすることによって信頼関係が築け、結果的に会社の売上にも繋がっていくと学ぶことができた」や「グループのメンバーと話す機会が多くあり、主体的に問題について考えるきっかけになった」などの感想が寄せられました。また、研修の内容だけでなく一緒に参加した受講生とグループディスカッションで関わるのが刺激になりました。

その後、講師の須山由佳子氏(有キャリアアップ・浜松支部)が登場。本研修の目的である安心感と信頼感を勝ち取る社員となるために必要な「指示の受け方」「仕事の進め方」「段取りの取り方」の基礎を伝え、参加者は講義やグループディスカッションを通じて入社してからこれまでの経験を振り返る時間となりました。

今年入社した新入社員や若手社員を対象としたフォローアップ研修を開催。受講者が11社14名、申込み企業の社長、先輩社員が見学で5名参加しました。開会あいさつでは、野川共育委員長より、開催主旨と受講者への期待を伝えました。

若手社員フォローアップ研修

安心感と信頼感を勝ち取る社員 となるために

10月18日(金) 参加者・14名